



0041318-000

特246-36

教育学概論

入沢宗寿・〔著〕

帝大プリント聯盟

3

昭和15

AHB



入澤宗壽先生

講義プリント

教育學概論

(三)終

昭和十五年一月—二月

東京帝國大學文學部講義



帝大プリント聯盟 發行

101
22

特246
36



入澤宗壽先生

講義プリント

教育學概論

(三)終

昭和十五年一月—二月

東京帝國大學文學部講義



帝大プリント聯盟 發行

教育學 (三) 終

第十章 教育ノ方法

古來教授ノ方法ニツイテ、*active method* 動的方法、*economic method* 經濟的方法、*geretic method* 發生的方法ナドガ擧ゲラレテキルガ、何レモ教育ノ目的、特ニ教授ノ目的ヲ達成セントスルモノデアル。先ヅ第一ノ *active method* ニツイテハ、カナリ古イ時代カラ教育教授ガ *active* タルベキコトガ注意サレテキテ、学記ニ「導而弗牽、強而弗抑、開而弗達」トアリ、論語ニ「不憤不啓、不悱不曉」トアルノハ之デアル。西洋ニ於テハ早ク *Socratic method* ナルモノガアツテ、ソレハ先ヅ *Irony* ニヨツテ相手ノ青年ガ持ツ偏見ヲ去リ、*Maieutic* 産婆術ニヨツテ知識ヲ開発シテ、ソレヲ概念、定義ニマデ追及スル。ソノ際外カラ注入セスニ青年ノ心ヲ内部カラ引キ出サウトスルノデアル。次ニ又、児童ノ生活ニ合致スルマウニ *Playing method* 或ヒハ *Play-way method* ガ唱ヘラレルガ、之ハ既ニギリシマ時代ニ於テモ注意サレタモノデア

リ、ルネッサンス時代ノ教育者モ之ヲカ説シ、
ソノ後 *Montaigne* *Locke* ナドガソレヲ唱
道シテキルガ、之ハ遊戯ノ間ニ色々ナ知識ヲ興
ハントスルモノデアリ。19世紀ニ於テ、汎愛
派ノ教育者ハコノ遊戯的方法ヲ色々ト考案シタ
ガ、ソノ中デ *Basedow* ハ綴字遊戯、記憶遊
戯、命令遊戯、概念遊戯ナドヲ考案実行シ、
Campe ハ地理カルタニヨツテ、地理ノ学習ヲ
テサシメントシタ。

我国ニ於テモ 江戸時代ニ熊沢藩山ハ幼君ニ
礼ヲ教ヘルノニ「このさまごとによりなして」
或ヒハ「あそびがてらに」スルト云ツテ居リ、
山花菴行ハ喜々遊戯ノ間ニ聖人ノ道ヲ家業ヲ学
ハソメルト云ヒ、然ラガレバ平生ト別ニナルカ
ライケナイノデアルト云ツテキル。ソレハ恰モ
Devey ガ、小学校ニ於ケル各教科ハ児童ノ学
校外ノ生活ト同一形式即チ、遊戯ト云フ形ヲ教
ハラルベキデアルトスルノト同ジ考ヘ方デアリ、
之ニツイテ、*Dilthey* ハ教育ノ下ノ段階ハ遊
戯デアツテ、遊戯ニ於テ最初ニ関聯ガ作ラレ、
又 *er tiefen* 昇心セラレル。ト云ツテ居リ、又
Erich Stern ハ、子供ノ態度ハ遊戯デアリ、

遊戯ノミガ子供ノ全人格ヲ傾注サセルモノデア
ルト云ツテキル。之ヲハマノ云フ如ク遊戯的
方法ハ低学年ニ於テ特ニ意味ヲ持ツモノデアリ、
コノ方法ハ結局児童ヲシテ *active* ニ学習サセ
ル一ツノ方法デアリカ。博物ノ教授ニ於テ、
"nature study"、物理化学ノ教授ニ於テ
discovering method ガ唱ヘラレテキル。
"nature study" ナルモノハ19世紀ノ終頃
アメリカデ唱ヘラレタモノデアツテ、児童自身
ガ自然界カラ直接学習スルマウニ導カウトイフ
ノデアリ。之ニツイテ *Dodge* ハ学校ノ中デ興
ヘラレル知識ハ死セル博物館デアツテ、生キタ
知識トシテ働カナイ。子供ニハ生キタ自然界、
即チ自然界ソノモノニツイテ研究セオバナラナ
イ。ト云ヒ、*Scott* ハ "nature study"
ハ子供ガ子供ノ立場カラ教師ト共カシテ学ブコ
トデアリ。自然ニツイテ学ブノデアリカラ、ソ
レハ *book, reading, lecture* ヲキクコ
トデハナクシテ、又 *form* 或ヒハ *const-*
ruktion トシテノ自然デハナクシテ、自然ノ
状態ニ於ケル自然、生キタ自然、活動シテキル
自然ニツイテ学ブコトデアルト云フ。

discovering method も又同様ノモノデ
既ニ Rousseau ガソノ着工ミールニ於テ、学
問ヲ学習サセナイテ発見サセロト云ツテキルノ
ト同ジ思想デアツテ、子供ニ材料ヲ集メサセ、
発見サセルノデアル。之ハ帰納的過程ヲ辿ルノ
デ scientific method トモ云ハレテキル。
即チ ready-mode ナ法則ヲ暗記スルノデ
ハナク、子供ヲ activeニ働カシメントスルノ
デアル。

次ニ、ドイツニ於ケル "Arbeitsschule"
勤労学校(作業学校)モ active methodノ
一ツデ、広ク主張論議サレ又実行サレテキタ。
コノ方法ノ主張サレタ始メニハ、manual
playing 手工ガ尊重サレタノデアツタガ、ソ
レガ直観、行動、應用ガ重ンゼラレルマウニナ
リ、遂ニハ selfactivity 自己活動ガ力説サ
レルニ至ツタ。active method ハ19世紀
末ニ於テ Pabst 等ガ手工料ヲ尊重力説スルコ
トカラ始マツテ、Scheler ハ各教科ニ於ケル
手工的作業ノミ必要ヲ説キ、Kerschens-
teiner ハ手工料、共同作業、自己活動ノ三ツヲ
力説シタ。彼ニヨレバ、作業原理ト云フモノハ、

作業ガ表象界ニ徹底シテ心理的必然性ヲ発達セ
シムルコトニヨツテ目的ヲ達スル。歴史、理科
ナド皆コノ Produktive Arbeit 創作的作
業ニヨルベキデアツテ、手ノ活動ノミテ心ニ結
合シナイノハ Arbeitsschule テナイ。凡テ
知識ニハ交付スル知識ト経験スル知識トカビア
リ、技能ニハ機械的ナモノト、非機械的ナモノ
トガアルガ、経験スル知識ト非機械的ナ技能ヲ
重ンゼネバナラナイト云ツテキル。

之ニ対シ Kismann ハ手工ヲ作業学校ノ
中心ニ置ク者ヲ排ケテ、作業学校ハ教授ノ形式
及ビ方法ヲ改良スルコトデアリ。精神活動トシ
テノ作業ガ中心テナケレバナラヌト云ヒ。
Gansberg モ又児童ノ精神及ビ身体ノ発動ヲ
内面的ニ密接ニ關係サセルコトガ作業学校デア
ルト云ヒ。又共同作業、若シクハ遊戯ニヨツテ
Arbeitssinn 作業心ニ導イテ行クコトヲ目的
トスベキデアルト云フ。1910年以後ニ於テ
漸次精神的方面ガ強調サレテ、Gaudig ハ自
由精神作業ヲ唱ヘタ。コノ freie geistige
Arbeit ハ決シテ單ニ知的ノミテナク、感情
的意志的デアツテ Werdende Persönlich-

heit 成長スル人格デアルト云フノデアルガ。
然シ、ナ木彼ニ於テハ思考ガ中心ニナツテキル
ノデアル。

● Gurger ハ精神作業ニ於ケル目的ノ意識、
ソノ目的ヲ實現スル手段ヲ工夫スルコト、目的
ヲ成就スルコトノ如キ段階ヲ區別シ、Deuchler
ハ作業学校思想ニ於テ活動、自発、集中、抵抗
ノ四ツノ原理ガ含まレルト云ヒ、Scheibner
ハ自己活動、自然的經濟的正確、生活トノ接近、
直観等ノ原理ガ含まレルト云フ。世界大戦後ニ
於テ、作業学校思想ガ *Produktionsschule*
生産学校ト云フマウナ方向ニ向ツタガ、ソレハ
農園ナドニ於ケル作業活動ニヨツテ健康ト美ト
徳トヲ養ヒ、人間ト社会トヲ子供ニ教ヘルコト
デアルト云フノデアル。然シ、之ハ作業学校思
想ノ回転ノ一方面デアツテ、教授法トシテハ
Arbeitschule カラ *Lebensschule*。
即チ生活的方法ノ方向ニ違ミ、ソレガ *Erleb-*
nisschule 体験学校ノ方向ニ回転シ、或ヒ
ハ *Leipzig* = 見タ如キ *Gesamt Unterricht*
ノ方向ニモ回転シテ行ツタ。コノドイツニ於ケ
ル作業学校思想ハフランス語、地方ニ於テ労働

学校ト云フマウニ訳サレテキルガ、彼ニ
active school ト云ハラレタノデアル。ソ
レハ活動的方法ノ点ヲカ説スルコトヲ示シテキ
ル。ソレガ、ベルギーニ於ケル *Decroly* = ヨ
ツテ特ニ生活尊重思想ト相合ツテ *Decroly*
Method = ナツタノデアル。

Decroly Method ハ *Dr. Ovide*
Decroly (1871-1932) ノ主張シ、
実行シタ方法デアル。彼ハ医学並ビニ心理学ヲ
研究シテ、1907年カラ *Brussels* ノ郊外
ニ *Ecole Decroly* (*Decroly-school*)
ヲ開イテ、"L'école pour la vie par
la vie" - "生活ニ根ル生活ノタメノ学校"
ヲモツトートシテ生活中心主義ヲ以テ新学校ヲ
經營シタ。且ツ又、個性ヲ尊重スル所カラ一学
級ハ二十五名以下タルベシト主張シタ。ソシテ
児童、生徒ヲ自然的並ビニ社会的環境ニヨツテ
教育スルコトノタメニ現象ノ觀察、歴史地理的
ノ聯合、言語及ビ手ニヨル表現ノ三ツノコトヲ
ナサシムルモノデアツテ、謂ハバ之ガ教材トモ
思ラレルノデアル。ソシテ総合ノ中心ヲ
Centre of interest ト稱シテキルガ、之

が教材ノ單位デアル。例ハバ、羊ヲ單位トスル
場合ニハ、羊ニツイテ觀察シ、羊毛、皮革、羊
ノ食物、ソノ産地、羊ニツイテノ表現ヲ行ハセ
ルノデアル。コノ三種ノ仕事ニツイテハ夫々
notebook ガアツテ記述サセル。又児童ノ読
ム凡テノ文章ハ口語以外ノ教材ト密接ニ關係サ
セル。ソノテ学校ハ生徒ガ共同シテ相助ケ合フ
小社会デアルカラ、生徒自身ガ学級訓練ヲ組織
シ分擔スル。直観教授或ヒハ手工教授ガ学科ノ
中心ニナリ。各科的取扱ヒガ必然的ニ生活ノ見
地カラ行ハレテキル。即チ読ミ、書キ、算術ハ
教科テハナクシテ、教育ノ各部ノ機能ヲ示ス方
法デアルト考ヘ、ソレラノ教科ト称スルモノハ
ソマリ生徒ヲ生活ニ導キ、或ヒハ文化ヲ獲得サ
セル手段ニ過ギナイトスルノデアル。ソコニ於
テ、興味ノ中心ハ生徒ノ生活カラ出発シテ社会
生活ノ材料ニヨツテソノ生活ニ導クノデアル。

コノ *Decroly method* ニ似タモノニ
Montessori method ナルモノガアルガ。
之ニ於テハ生活特ニ実生活、作業、活動、自由
ガ力説サレテキル。コノ方法ノ考案者タル
Maria Montessori (1870-)ハ

Decroly ト同ジマウニ医学、心理学、教育学
ヲ修メ又低能児ノ研究ヲシタガ。1907年カ
ラローマニ *Casa dei Bambini* (house
of children) ト呼ブ幼稚園ヲ開イタ。彼女
ニヨレバ、科学的教育ノ根本原則ハ“子供ノ自
由”デアル。自由ハ活動デアル。自ら行動サセ
ルコトガ“子供ノ家”ノ綱領デアツテ、ソノ手
段ハ作業デアル。即チコノ幼稚園ニ於テハ、9
時カラ10時マデ實際生活ノ練習ヲ、2時カラ
3時マデ手工ヲ行フ。読ミ、書キノ初步教授及
ビ感覺機關ノ練習ヲコノ自由ト活動ノ上ニ建設
スルノデアツテ、ソノタメニ教具 (*educa-*
tional material) トシテ彼女考案ノモノ
ヲ用ヒル。ソノテ子供自ら発見シ、自ら訂正ヲ
スルコトヲ重ンジテ、教師ハ單ニ監督者タルニ
過ギナイト見ルノデアル。ソレ故、コノ方法ハ
自動的方法 (*automatic method*) 或ヒハ
自動的教育 (*automatic education*)
トモ呼バレルノデアル。斯ク、自己活動ヲ力説
スル所カラ、アメリカニ於テハ、*Motivation*
ト云フコトガスシク唱ヘラレテ来タ。コノ主張
者ニヨレバ *Motivation* トハ学校ノ仕事ヲ

子供、経験、疑問、問題、欲望ニ関係ガセテ、
意義アリ目的アルモノトスルモノデア、子供
ハ仕事ノ中ニ實際ノ用途ヲ見出ス時ニ、或ヒハ
或ル要求ヲ満足セシムル時ニ *motivate* サレ
ル（動機ツケラレル）ノデア。換言スレバ、
子供ガ自ラナス仕事ト求メル目的トノ関係ヲ了
解スル限リ *motivate* サレルノデア。コノ
動機ト刺戟トヲ比較スルト刺戟ハ努力ニ対シテ
外面的デア、動機ハ努力ヲ起ス根本的ナ動
的ナモノデア。如何ナル動機モ刺戟トシテ働
クノデア、單ナル刺戟ハ真ノ動機トハナラ
ナイ。興味ト動機ノ関係モ又同様デア、興
味ハ動機ノ一部デア、興味ナシニハ動機ハ起
ラナイガ、凡テノ興味ハ動機トナルノデア、
動機^{源ハ}ノ第一ニ本能若クハ先天的傾向、第二ニ修得
シタ習慣、趣味、理想等、第三ニ行動ヲ起ス実
際的狀態、第四ニ究知心、想像、思考デア、ト
スルノデア。コノ方法ハアメリカニ於テハ
Supervised Study (S.S.) 指導學習若
クハ監督學習ト云フ教授或ヒハ管理ノ一方法ト
ナツタ。之ヲ教授法トシテ見レバ、生徒ガ自ラ
問題ヲ了解シ、支配スルニ適當ナ機会ヲ與ヘル

方法デア。コノ方法ハ1915年頃カラ唱ヘ
ラレヌ行ハレタガ、ソノマリ方ハ個々ノ生徒ヲ
監督シ指導シ、ソレニヨツテ普通ノ學級教授ニ
於テ等閑ニ附セラレル劣等生ノ作業ヲ違メ、學
習法ヲ教ヘルトコロニ特色ガアル。コノ方法ハ
學級管理ノ方法トシテハ從來ノ *class-*
instruction カラ *individual*
instruction 又ハ *group-instruction*
ヘノ変化デアリ、教授法ニ於ケルカ説、変化
トシテハ學習ノ *supervisor* 監督者トシテ
見ラレルコトガアリ、又コノ方法ヲ行フコトニ
ヨリ生徒各自ガ如何ナル点ニ困難アリマラ知ル
コトガ出來テ新シイ教材組織ニ參考トナルノデ
アル。ソシテコノ方法ヲ行フニ當ツテハ、教師
ヲシテ個人的取扱ノ熟練、地方ノ狀態ニ適合セ
シムル術等ヲ修練セシムネハナラナイ。即チ、
生徒ニ於ケル個人的相違ノ問題、學習ノ妨害ヲ
除ク研究ガ慎重ニ考慮サルベキデア、ソコ
ニ學習室、読書室ノ設備ガ必要デアリ、自ラ研
究スルモノヲ *discussion* 討論ニヨツテ交換
セシムルコトマ研究法ヲ教ヘルコトガ必要デア
ル。從來行ハレテ來タモノニ於テハ、*part-*

time plan 二部制ト構シテ、普通ノ取扱ト
コノ指導学習ノ時間トヲ平分ニ分ツモノカアリ、
double plan 二重案ト採スルモノハ始メ
ノ四十分ヲ普通ノ授業、後ノ四十分ヲ S.S. ト
ナスノデアリ。又“各週監督学習”ト採スルモノ
ハ各学科ニツイテ一週一時間 S.S. ヲ行フモノ
デアリ。ナホ之ヲ、他ニ普通ノ課業時間
外ニ行フモノ、隔日ニ行フモノ、或ヒハ隨時ニ
行フモノナドカアル。要スルニ S.S. ハ監督ト
指導トヲ含ムモノデアリ。

以上ハ、アメリカニ於ケル *active method*
デアリガ。コノ精神カラシテ *Project*
Method (P.M.) 構案法或ヒハ実演教授ガ一
般ニ行ハレルヤウニナツタ。コノ法ノ起源ニソ
イテハ、十八世紀ニ於ケル *social efficiency*
社会的能率ノ思想ト、学習者ノ精神ニ基礎ヲ置
ク思想カラ、且ツ又、語学ニ代エルニ科学ト效
用ヲ以テスル思想カラ出ヅルモノデアリ。カ
ル思想ガ *Rousseau*, *Pestalozzi*,

Froebel, *Herbart* ヲ通シテ、アメリカ
ニ入リ、*W. James*, *G.S. Hall*,
Thorndike, *Dewey*, *Mc. Marry*,

ナトニ及ビ、コノニ又新教育運動トシテ
Motivation 並ビニ、教授ヲ *Problem-*
solving process 問題解決ノ過程ニ置クコ
トカラ P.M. カ出現シタト見ラレル。

元來 *project* ノ語ハ、*practical*
enterprise ノ意味ニ一般的ニ用ヒラレテキ
タモノデ、之ヲ教育ニ用ヒ始メタノハ農業教授
ノ *home project* デアリテ、ソレハ家庭ノ
農圃ニ於テ生徒自身ニ耕作サセ、ソノ成績ヲ学
業ノ一部トシタコトデアリ。之ト前後シテ手工
教授ニ於テ同様ノコトガ主張セラレ、1914
年ニ至リ、理科教育會ガ兩カレテ、ソノ席上、
從來、暗記ニヨル教育ヲマメテ、P.M. ニ於
テ行フヘキコトガ決議サレタ。ソノ後、地理、
歴史ニ於テモ、実行、実演ニヨル方法カ行ハレ、
ソノ後 *Problem Method* 問題法、即チ
問題解決ノ過程ニ置ク方法トガ合一シテ

Problem-Project Method ト云フ言
葉ガデキ、遂ニハ兩者ヲ合メタ P.M. トシテ
考ヘラレルニ至ツタ。

以上ノ発達ニ見ル如クニ *practical*
work ニヨツテ教育ヲ徹底サセルコトガ、コ

ノ P.M. ノ主眼点デアル。即チ *Knedden*
ニヨルト、教育上ノ *Project* トハ具体的、或
ル仕事ヲナシトゲル教育作業ノ一單位デアル。
カ、ル仕事ノ性質トシテ、第一ニソレガ統一シ
タ單位デアルコト、第二ニ目的、結果ノ意識ガ
明瞭デアツテ興味ヲ誘ヒ易イコト、第三ニソ
ノ仕事ノ標準ガ客観的且ツ明確デアルコト、第四
ニソレノ進行ニハ旧知識ヲ適用シ、又新知識ヲ
獲得スルコト、ガ重要デアルト云フノデアル。
又 *Mc Marry* ハ *Project* トハ大直観單元デ
アルト云ヒ、*Parker* ハ児童ノ計画スル實際
的活動デアルト云ヒ、*Stockon* ハ
learning by doing 行動ニヨル学習、
modernization of school 学校ノ現
代化デアツテ、子供自身ノ結果追及デアルト云
ツテキル。カクノ如ク P.M. ハ具体的作業ヲ中
心トスルコトカラ始マリ、現今チモカ、ル意味
ニ用ヒラレテキルガ、然シ、ソレニ対シテ
Problem Method ノ要素ヲ重要視シテ目
的、意識ヲ中心トスル者ガアル。 *Kirpatrick*
ノ如キハソレデアツテ、彼ハ P.M. ヲ以テ
purposeful activity 目的アル活動

whole hearted activity 全誠活動トナシ
コノ派ノモ、ハ目的活動ニ重キヲ置クガ、然レ、
低学年ノ場合ハ自ら具体的ノ作業トナル。
Stevenson ノ如キハ、カ、ル両方ノ意味ヲ
合シテ見テ居リ、*Project* トハ *natural*
setting 自然的組成ニ於テ完成スル *pro-*
blematic activity 問題的行動デアルト
云ヒ、即チ、記憶ニヨラスンテ自己ノ思考、報
告デナクナツテ行動、*artificial setting*
デナクシテ、*natural setting* 原理ヨリ
始メスシテ、課セラレタ問題ヲ解決シテ原理ニ
達スルモ、デアルト云フノデアル。コノ意味ニ
於テ行動、実演、蒐集、解決ヲナサシメルコト
ガコノ方法、目的デアル。一例ヲ舉ゲルナラバ
“英国、經濟地理”ニツイテ全歐洲ノ外國貿易ノ
比較カラ始メテ、団体作業トシテ、政治上ノ組
織ニツイテ調査セシメ、又ハ国内ノ生活ヲ調査セ
シメ、*discussion* ト *sammery* ノ製作
ヲ以テ進行シ、終リニ英國ノ過去ト現在ト云フ
ドラマニヨリ過去ノ *spirit* ト現代ノ
spirit トノ野外劇ヲ行ヒ、又地圖ノ模型ノ
製作モ構築ニヨリ、大キナ *project* ノ中ニ小

「1 projects」ヲ含ムモノデアリ。

之ヲノ P.M.ノ特色ヲ考ヘテ見ルト、第一ニハ具体、直観、作業、行動ノカ説デアツテ、
Sneddenガ projectヲ positive concrete achievementノ形ニ於ケル教育作業トスルノモノレデアリ。第二ニハ、生活特ニ実生活、社会トノ結合デアツテ、McMurryハ、projectガ実生活ヲ反映スルコトヲ述ベテ居リ、又 active lifeニ於ケル計画デアルト云ヒ、他ノ人々モ projectハ学校外ノ生活ト出来ルヲ一教スヘキデアルト云ヒ、Kirpatrick スラモ projectハ人生ノ準備デアルト云ツテキル。ソシテコノ生活ハ綜合的ナモノデ、コハニ第三ノ特色トシテ、統合或ヒハ合科ヲカ説スルノデアリ。

Stevensonノ natural settingハ、即チソノ全体的ナルモノヲ取扱ハントスルモノデアリ。第四ニ、目的ノ意識ハ実演ヲ中心トスルモノニ於テモ説カレルモノデアリ。第五ニ、問題解決ノ過程ニ於テ、自己活動ヲサシムル所ガ一ツノカ説点デアリ。

コノ project methodヨリモ更ニ個性

ト自己活動ヲ強調シテ現ハレタモノガ Dalton Planデアリ。コノ案ノ創始者デアリ Helen Parkhurstハ次ノ如ク述ベテキル。『教育ノ旧組織ノ中ニ於テハカアル教育ハ行ハレナイ。合理的ナ方法ハ生徒ト共ニ働クコトデアツテ、教師ハ生徒ヲ研究シテ、教室ガ教育ノ実験室トナリ、活動ハ手工ノミニ限ラレナイマウニセホベナラヌ。今日ノ教育ハ環境ニヨル暗示ノ影響ヲ正當ニ認メナイ。之ニ対スル改革ヲ行ハントシテ、先ヅ時間割ヲヤメントシタガ、1915年頃マデハ実行デキナカッタ。ソノ頃 Montessori methodヲ研究スルタメニ、イタリーニ赴キアメリカニ帰ツテソノ方法ヲカリフォルニアニアテ行ツテ見タ。ソノ後1919年ニナツテ、教員ニナツテカラ15年目ニ漸ク自分ノ案ヲ缺陷児童ノ單級学校ニ行ツタノデアリガ、ソノ成功カラ Miss Crainヲシテ、マサチューセッツ州ノ Dalton girls high schoolニ行ハセタ。ソレハ1920年ニ始メラレタガ、之ヲ見タ Londonノ Miss Lennieガ英國ニ宣傳シタトコロカラ、英人ノ注意ヲ惹キ、Miss Busettガ Street-

ham County girls high school =
於テ行ツタ。アメリカニ於テハ Dalton
high school、New York Child-
ren's University = 行ツタノガ始メデア
ル。ト、Purkhurst ハコノ案ノ原理ト
シテ、自由ト共同ヲ基ゲテキルガ、彼等ノ云フ
所ニヨレバ、旧学校ハ culture 陶冶ヲ主ト
シテキルニ對シ新学校ハ經驗ヲ主トスル。文化
ノ修得ハ經驗ノ一形式ニアル。学校ガ社会ト同
ジクアルタメニハ個人ガ自ラ自由ニ発達スルコ
トが必要ナル。理想的自由ハ我儘ヲ訓練ナキ
コトニハナクシテ、ムシロコノ反對ナル。我
儘ナ子供、利己的ナ子供ハ社会生活ニハ不適當
ナル。即チ、共同利益ノタメニ自分ノ精力ヲ
自由ニスルコトヲ学バネハナラヌ。コノ意味ノ
自由ガ Dalton laboratory plan、
第一原理ニアル。自由ニ學習スルコトが必要デ
アルカラベルテ中斷ナレナイノガコノ案ノ特色
ノ一ツナル。第二ノ原理ハ共同ナル。ソレ
ハ団体生活ニ於ケル相互活動ナル。即チ、子
供ヲ class、参加者タラシムルコトナル。
コノ案ハ学校ヲ遊戯ノ如ク興味アル教育トスル

モノデアル。今日人々ハ curriculum 學課
過程ヲ考ヘルロトガ多ク、子供ヲ考ヘルコトガ
少イ。Dalton Plan ハソノ反對ノ案デア
ル。ナホコノ案ノ主旨ハ教授ト學習ノ雙子の
活動ヲ調和スルニアル。ソレニハ教室モ教科モ
廢ヘナイデ、契約的仕事ノ形式ニ於テ行フ、デ
アツテ、一週又ハ一ヶ月ノ豫定表ヲ約束スルノ
デアル。ソシテ之ハ九歳以下ノ學級ヲ除イテ行
フコトガデキル。New York テハ四級カラ
ハ級マデ三十人ツツノ五組トシ、五人ノ教師ガ
一ツノ主要學科ヲ各學年ニ行フ科任制度デア
ル。十二時カラ四十五分ツツ行フ討論モ甚ダ大切デ
アル。

コノ案ニツイテ Evelyn Dewey、云フ所
ニヨレバ、コノ方法ニ於テハ兒童ニ實際的教育
ヲ興ヘ、兒童ノ意志ガ活動力ニナリ、個性ノ速度
ニヨツテ作業ヲナサシメ、class meeting
即チ discussion ニヨツテ自ラ研究シ發表
シ、教師ガコレヲ補フ。各學科、實驗室、実社
会ノ生活ト平行シテ各自經驗ヲ積チ、又他ニ傳
ヘル。又コノ案ハ各生徒ノカラ発達サセルヤウ
ニ教材ヲ排列スル企デアツテ、カ、ル個性的取

扱ニヨレバ、教科ノ尺ヲニ直ラナイト云フ非難
ガアルガ、長所ヲ早ク終ヘテ、短所ニ多クノ時
間ヲ興ヘルコトガソノ特色デアリ。又ソノ学習
ニ多クノ時間ヲ費スト云フ非難モアルガ、

Dalton plan ハムシロソレヲ改善シヨウ
トスルノデアリ。ソシテ経験ノ完全ト個性的作
業並ビニ興味ノ拡大ナドガ、コノ案ノ特色デア
ル。ト云フノデアリ。ソシテ *Project
method* ハ分類ト孤立的ト事實カラ解放セ
ントスルモノデアリ。 *Dalton plan* ハ断
片的ト時間割、ヘル、疲勞、暗誦カラ解放セン
トスルモノデアリ。前者ハ新教材ヲ現代生活ノ
必要ニ合ハセルコトニ貢献シ、後者ハ現代心理
学ノ発見ニ伴フ作業條件ヲ子供ニ興ヘル方法ニ
貢献シタモノデアルト云フノデアリ。

更ニ、コノ案ヲドイツノ *Arbeitschule*
ト比較シテ *Idgius Idessen* ハ次ノマウニ
云ツテキル。学校ヲ仕事ノ場所トスルコト、及
ビ *Passive Schule* ニ對シテ平凡、一般
ヲ打破スルコトニ於テ共通点ガアリ、個性的取
扱ハ *Dalton Plan* ノ特色デアリ。然シソ
ノ *Dalton Plan* ノ短所トシテハ特別教

室ヲ重ンジ通キテ、共同ガリイシ、又教科書ノ
知識ヲ主トスルトコロカラ、機械的ナルコトヲ
免レナイ。教師ノ口カラ方法ヲ教ヘルコト、並
ビニ共同ノ学級教授ガ必要デアリ。コノ共同ノ
欠陥ヲ補ツテシカモ又個性的取扱ヲ重ンジテキ
ルモノニ *Wynnetka system* ナルモノガ
アル。

コノ *System* ハ *Carlton Washburne*
ニヨツテ始メラレタモノデアリ。彼ハ
Chicago 及ビ *Stanford*、大学ニ法律ヲ
學ビ或ル会社ニ奉職シタガ、ソノ解散ト同時ニ
教員トナリ、始メ *Losangels*、田舎ノニ学
級ノ学校ノ校長トナツタガ、ソノ後、低能児学
校ニ奉職シタ。後更ニ研究ノタメ *Sanfran-*
cisco ノ州立大学ニ入り、實際教育ニ従事シ
タ後 1919年カラ *Wynnetka City* ニ
視学トシテ赴任シタノデアリ。コノ方法ノ起源
ハ *Platon Search of Ideal school*
ノ個性教育ノ思想カラ *Frederic Burck* ガ
行ツタ方法ニ基クノデアリ。ソノ方法ハ、自習
書ニヨル個性的方法ヲ特色トスル。 *Wash-*
burne ガ彼ノ *System* 即チ *Wynnetka*

System エツイテ述べテキルトコロヲ見ルト、各自児童ハ將來ノ生活ニ必要ナ知識技能ニ熟達スル権利ヲ有シ、人類ノ進歩ハ各個人ガソノ才能ヲ充分ニ發揮発展セシメルコトニ依存シテキル。又、人類社会ノ幸福ハ各個人ニ於ケル強イ社会意識ノ発達ヲ必要トスル。之ヲノタメニ個性的取扱ヲナスト共ニ、午前及ビ午後ノ半分ヲ以テ *social activity* 及ビ共同作業ヲ行ハセルノデアアル。コノ方法ニ於ケル個性的取扱ハ *Dalton plan* ノ豫定表ト同ジマウナ *goal* ト採スルモノニヨツテ、一單元ツツ学習サセルノデアアル。ソシテソレヲ終ツタ者ニ共同作業ヲ行ハセル。ソレハ討論、自治、児童劇、*Project*、会合ナドデアツテ、音楽、体操、手工等ハコノ共同作業ノモノトナスノデアアル。

以上述べタ諸方法ハ生命、生活ト活動ヲカ説スルモノデアアルガ、一層強ク抽象ト概念トニ対シテ生活ト経験トヲ強調スルモノニ *Erlebnissunterricht* 体験教育ト採セラレルモノデアアル。コハニエフ体験トハ我国ニ於テ通俗ニハ *Erfahrung* 経験ト同意義ニ用ヒラレテキルノデアアルガ、只経験ノ語ガ外面的、客観的

デアアルニ又シ、体験ハ内面的、主観的デアアル。ソレ故ニ *Erlebniss* トハ内面的ナル経験トイフコトガ出来ル。又 *erleben* ノ語ハ *leben* ヲ語幹トシテキルカラ、生活ト極メテ相近イ語デアアル。従ツテ、"*Lebensschule*" ノ思想、甚ダ近イモノデアアル。然シ單ニ生活スルトイフコトガ作用デアアルニ対シテ、体験ハ他動詞デモ従ツテ何カノ目的内容ヲモツタモノデアアリ、教育ニ於テハ文化内容ヲ目指ス莫ニ於テ單ナル生活トハ異ルノデアアル。因語ニ於テ体験ノ語ハ「体ニ於テ試ス」モシクハ「身心ニ徹スル」ノ意味ヲモツモノデ、従ツテ單ニ知的ノミデナク、情的ナ意味ヲ持ツノデアアル。

教育ニ於テ経験又ハ生活ノ意味ヲカ説シタモノハ *Rousseau*、*Shaftsbury*、*Goethe*、*Philanthropists* ナドデアアルガ、十九世紀、*Hildebrandt* ニ至リ *Erlebniss* ノ語ガ唱ヘラレニ二十世紀ニ至ツテ *Dilthey*、"*Erlebniss und dichtung*" 「体験ト詩」ガ1906年ニ公ニサレテ教育界ノ注意ヲ惹キ、ナ木 *Dilthey* ハ1907年カラ翌年ニカケテ書イタ

"Fragmente zur Poetik" = 於テ体
 験概念ヲ詳述シテ、二十五年ニ於ケル「決定的
 学校改革者」ノ団体ノ人々ガ体験教育ヲカ説シ
 タガ、コノ派ニ於テハ感情ノ方面ヲカ説スルニ
 過ギテ目的対象ノ方面ヲ重視セルコトニ於テ誤
 ツテキルモノデアリ。Neubert、如キモ
 Dilthey、体験概念ニ依リツ、モ目的内容ヲ
 見スシテ作用ノ方面ヲ見ルニ止ツテキル。
 Eberhard, Kneisel 等ニヨツテ一層本イ
 体験ノ意味ガ説カレルニ至ツタ。体験トハ先ツ
 第一ニ、概念ニ対シテ直接的ノモノデアリ。コ
 ノ直接若シクハ具体ヲカ説スルコトニ於テ、従
 来ノ知的合理的論理的ノ立場ニ対立スルモノデ
 アリ。Dilthey、云フ所ニヨレバ、体験ハ生
 活過程ノ一部デアリカラ具体的デアリ。第二ニ
 体験ハ内面的デアリ。第三ニ感情ヲカ説スル。
 第四ニ全体的、關聯的デアリ。即チ、全体觀ノ
 哲学ヲ基礎トスルモノデアリ。Diltheyハ現
 実トシテ自分ニ現レ、且ツ保タル構造關聯ガ
 体験デアルト云ツテキル。第五ニ体験ハ統一
 的デアリガ、シカモソコニ gegliederte
 Einheit 分段的統一ガアリ、デアリ。第六ニ

特殊性ト個性トヲカ説スル事、此トハ舊習ヲ代
 表スル特殊トシテ見ルノデアリ。第七ニ歴史的
 見地ニ立ツコトデアリ。然レ、コノ歴史的トハ
 過去ニ振ハレルコトデハナイ。将来、理想ヲ通
 シテノ過現未ノ perspective ヲ見ルコトデア
 リ。第八ニ表現ヲカ説スル。体験シタモノハ強
 ク表現サレルトイフノデアリ。第九ニ対象目的
 性ヲモツテ、目的ニヨツテ統一セラレ、價値ニ
 ヲツテ關聯スルト見ル。第十ニ対象性、若シク
 ハ内容ニ關スルモノデアリ。二ノ点 Kneisel
 等ノ最もカ説スル所デアリ。Gaudig、如キ
 モ、Arbeitsschule ガ形式原理、又ハ作用
 ノ原理デアリニ反シ、体験ハ内容原理デアルト
 云ツテキル。
 之ヲノ意義ガ含マレテ体験教育ノ語ノモトニ
 主張セラレ、感情、活動、生活、文化ガカ説セ
 ラレ、具体ト個性ガ重視サレ。Gesamt
 Unterricht, Ideimat Erziehung,
 Gelegentliche Unterricht,
 Lebenskunde, Kulturkunde, 思想
 ガコノ方法ニ取り入ラレテキルノデアリ。
 体験的方法ハ G. U. ヲ全体的ノ意味ヲ強調ス

教育概
 (三)
 内外

ルノデアアルガ、ソレヲノ教育ニ於ケル全体観ガ
Ganzheitsmethode 全体法ヲ唱ヘシムルニ
至ツタ。カツテ *Linde* ハ、人格ノ中心ガ
Gemüt 心情ニ存スルモノデアリ、知モ意志
モ感情ニヨツテ、動クト云ツテ、所謂 *Gefüh-*
lhetonte Unterricht 感情的教育ヲ主
張シタガ、*Ganzheitsmethode* ハ必スシモ
感情ノミヲカ説スルモノデハナク、教授ニ於ケ
ル知ト情意トノ関係ヲ重視スルモノデアル。即
チ、合理主義哲学ノ時代ニ *denken* 思惟スル
主体ト見ラレタ人間ガ價值哲学、文化哲学ノ時
代ニ至リ *Werten* 評價スル主体ト考ヘラレ、
leben シ、*erleben* シ、*verstehen* ス
ル主体ト見ラレニ至ツテ、ソコニ全体法ガ主
張セラレ、ニ至ツタ。コノ方法ハ *ganzheit*
全体、*Synthese* 綜合、ノ見地ニ立ツテ教授
ヲ行ヒ常ニ全体ヨリ考ヘルノデアアルガ、決シテ
分析、特ニ又分枝ヲ怠ルモノデハナクシテ、ソ
レ故ニコソコノ方法ハ *analytische-*
synthetische methode 分析綜合法トモ
云ハレルノデアアル。然シテ教育上ノ法則トシ
テ、必要ナル時ニ分析セヨ、出来ルヲケ綜合セ

ヨ、ト云ハレル如ク、綜合ガ分析ヨリモ重シセ
ラレルノデアアル。

Spranger ハ知識ガ有機的ナルコトヲ述
ベテキルガ、カ、ル見地カラ構造的若シクハ關
聯的ニ取扱ハントスルノガコノ全体法デアツテ、
教材ヲ *lebendig Ganz* 生キタ全体トシテ
見、又子供ノ未発達ノ統一ノ時期ニ合セヨウト
スルモノデアアル。

既ニ述ベタ *Project method* ハ具體的
ノ *life unit* 生活單元ヲ取扱フ莫ニ於テ全
体的方法ト云フベキデアアルガ、又 *P.M.* ノ基礎
ヲナス思想ハ經驗論デアアルガ、ドイツニ於ケル
全体法ハ全体観ノ哲学ノ上ニ立ツモノデ、コノ
莫ニ於テ *P.M.* トハ異ルモノデアアル。言語教
授ニ於ケル *sentence method* モーツノ
全体法トシテ取り入レラレテキルガ、之ハ確カ
ニ *Pestalozzi* ノ言語教授ト対立シテキルモ
ノデアアル。*Steiner* ノ方法ハ算術教授ニ於テ
モ全体カラ出発シ、理科教授ニ於テハ、花ノ部
分カラ出発シナイデ、花ノ全体、或ヒハ植物全
体、若シクハソレト土地トノ関係ヨリ出発スル
ノデアアル。又コノ派ノ学校 *Steinerschule*

ニ於テ歌ヒ、畫キ、行動スル一辭ノ取扱ハ全体
法ト称スヘキモノデアリ。

以上ノ *active method* 動的方法ハ從來ノ
static 靜的 + *passive* 受動的 + 教育方法
ニ對スル改革ヲ同サスモノデアツテ、ソレニヨ
ツテ確實ナル知識、技能ヲ得サセヨウトスルノ
デアリ。コノ方法ニ對シテ或ル人ハソノ陥リ易
イ弊害ニツイテ非難スルガ、眞ニコノ方法ヲ用
ヒル者ニ於テハ從來ヨリモ有效ナル結果ヲ得ベ
キモノデアリ。コノ實ニツイテ *economic*
method 經濟的方法ガアル。ソレハ直接能率
ヲ目サシテ學習經濟ヲ計ルモノデ、例ハハ、

Rice / *Incidental Instruction* 隨
伴教授ノ如ク、実科ノ中ニ形式的教科ノ目的ヲ
合セヨウトスルモノハソレデアリ。經濟的方法
ノ根底トシテ、*Rice* ハ、興味ニ合スルコト、
欲求ヲ起スコト、個性ヲ顧慮スルコト、ヲ擧ゲ
テキル。既ニ之ハ *Ratke*、*Comenius* 以
來容易ニシテ一般的ナル方法トシテ能率的着眼
ガナサレテキタモノデ *active method* モ
又ソレヲ目ガスモノデアリ。次ニ *genetic*
method 發生的方法モ同様ノ着眼カラ起ツタ

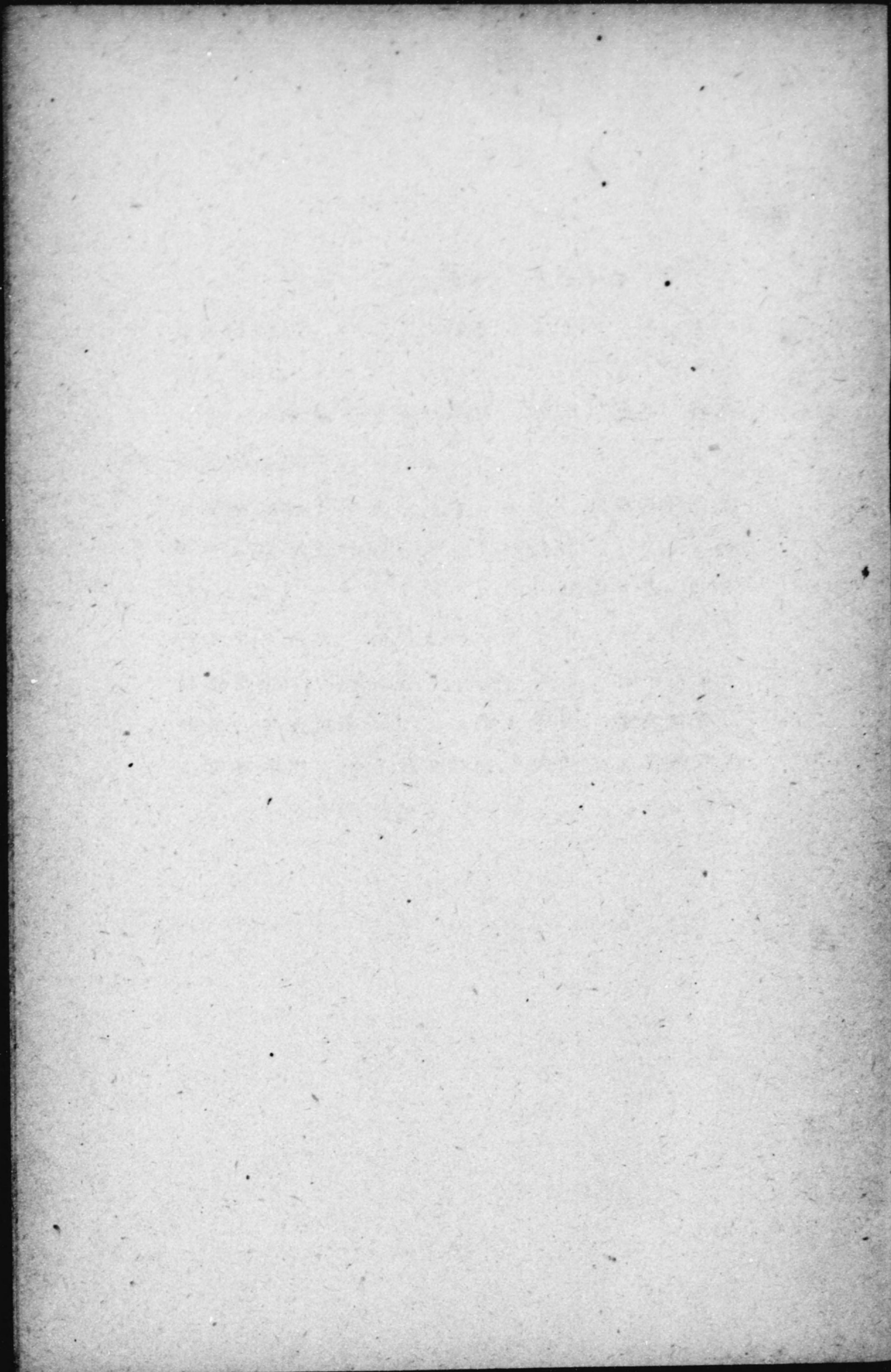
モノデ、精神成熟ノ時期ニ應ジテ效果ヲアゲン
トスルモノデアリ。經濟的方法ニハ實驗的教育
的研究ガ貢獻スル如ク、コノ方法ニハ生物学的
の考察、發生心理学、児童心理学ガ貢獻スルモノ
デアリ。カツテ *Willmann* ハ博物ニ於ケル
進化論的取扱、理科ニ於ケル発見式的取扱ヲ主
張シタガ、*Ziller* ノ文化式的段階説ニ於テ
モコノ點ガ着眼サレテキルノデアリ。*Sadler*
ノ一年カラ八年マデノ修身教材ノ排列モ發生的
+モノデアリ。又 *Paul Barth* ガ修身教材
ハ道德発達ノ順序ニヨルベク、宗教教育ハ又自
然宗教、立法宗教、感情宗教ノ如ク宗教発達ノ
順序ニヨルベシト云フノモ發生的の方法デアリ。

(終り)

教育
概

(三)

五
外
内
終



特 246
36



36

昭和十五年二月二十日印刷
昭和十五年二月廿五日發行

編輯人 中 川 澈
發行人 坂 井 十 二 郎

【帝大プリント聯盟印刷】
【帝大プリント聯盟】

東京市本郷區森田町七十四番地
電話東京一三三五七七番